

## 平成27年度 第1回大分市清掃事業審議会会議録

日時：平成27年7月29日（水） 14：00～

場所：大分市役所 議会棟4階 全員協議会室

### 開 会

桑野課長

### 第9期委員紹介

### 委嘱状交付

代表：吉岡義正委員

### 市長挨拶

佐藤市長あいさつ

### 市長及び荒金委員退席

### 事故報告

#### 志堂寺次長

清掃施設課長の志堂寺でございます。緊急のご報告ですが、私どもの施設で火災が発生いたしました。皆様ご存知の通り大分市には二つの清掃施設がございまして、その内の一つ、福宗環境センターにリサイクルプラザがございまして、資源物や不燃物の処理をしている施設でございますが、このリサイクルプラザの不燃ごみピットで火災が発生いたしました。本日10時10分頃、不燃ごみピット内で煙があがったため、直ちに消火用散水装置を起動させ、自衛消防隊による消火活動で消火を行うと共に、場内作業員の屋外避難を行ったところでございます。10時12分には消防に通報いたしましたが、自衛消防隊の活動により10時20分頃にはほぼ煙も出なくなりました。10時25分に消防隊が到着いたしまして、10時54分に鎮火確認が行われたところでございます。本日、水曜日は資源物と不燃物の収集の日であり、施設は大変搬入車両が多くございました。このため火災が発生いたしました直後から搬入車両の受け入れを止め、10時54分には鎮火の確認が取れましたけれども、現場検証等が続きましたので、午前中の受け入れは中止といたしました。現場検証の結果、火災の原因は特定できませんでした。今回の火災によって人的被害及び

施設の被害等は全くございませんで、搬入された不燃物が一部燃えたという程度でございます。13時から施設の受け入れを再開いたしております。今回、原因が不明ということではありますが、搬入車輛のパッカー車のごみを降ろした直後に煙が発生したという事でございます。通常原因として多く考えられるのがスプレー缶等なのですが、スプレー缶は通常資源物としてパッカー車ではなくて平ボディという車で回収しますので、パッカー車から降ろされたという事は多分不燃物の中にスプレー缶等が含まれていた可能性がございます。今後共、このような火災に繋がるおそれがありますことから、市民の皆様、きちんとした分別をお知らせしながら、啓発に努めてまいりたいと考えております。以上でございます。

#### **審議会の成立**

委員総数15名中13名の委員が出席しており、大分市清掃事業審議会条例第6条第2項の規定を満たしているため、本日の審議会は成立。

#### **会長・副会長の選出**

大分市清掃事業審議会条例第5条第1項の規定で委員の互選により選出することとなり、事務局一任との声あり。

#### **事務局**

事務局といたしましては会長を引き続き元大分大学教育福祉科学部教授の吉岡義正委員さん、また副会長を大分市議会厚生常任委員長の二宮博委員さんをお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

#### **桑野課長**

只今事務局より会長に吉岡義正委員、副会長に二宮博委員との提案がありました。委員の皆さん、いかがでしょうか？

#### **委員一同**

(拍手)

#### **桑野課長**

ありがとうございます。只今拍手を頂きましたので会長を吉岡委員、副会長を二宮委員にお願いしたいと思います。再度の拍手をもってご承認申し上げます。

#### **委員一同**

(拍手)

## 会長挨拶

### 吉岡会長

昨年に引き続き会長に任命いただきました。微力ながらも本審議会のために尽くしていきたいと言うふうに思っております。元々ごみ問題というのは昔からございまして、例えば貝塚なんてものは本当のごみ捨て場でありますけども、1,000年後の人間から見るとその人々の生活がよく分かる非常に良い文化的な財産になっております。今我々の生活を富士山位の山に積み上げておきますと、1,000年経ちますと非常に良い財産が後世に残るのではないかなとは思いますが、エベレスト位になってしまうと少し困るので何とかしないとイケないというのでごみ処理という問題が発生するかというふうに思っております。現在我々の社会におきましては、いわゆる再利用という事が非常に盛んになってまいりました。これも結局は持続可能な社会というものをこれから作っていくために何をすべきかという事が問いかけて、そして生まれてきた、いわゆる3Rあるいは4Rと呼ばれる社会現象であるというふうに考えております。先程市長さんもお述べになりましたように、前期の時にごみの有料化が始まって、これから先、今後さらにどうするのかという事のチェックポイントを迎えることになるかと思っております。それまでの間、私たちもごみ問題に対して常に様々な見解を寄せ集めて“良い行政サービス”というものを目指して進んでいきたいというふうに思っております。そのようなことで1期の間努めたいと思っておりますので、どうぞ皆さんよろしくお願いいたします。

## 傍聴者

本日の傍聴者なし

## 報告事項1

### 事務局（清掃管理課）

「家庭ごみ有料化開始後、8か月間の家庭ごみの排出状況等について」説明

### 【質疑応答】

### 吉岡会長

只今のご報告につきましてご質問等ございませんか？

皆さんが考えている間に1つだけ。報告事項1の1ページの一番下にあります①の『「燃やせるごみ」の排出量』のところ6月の削減率が-1.3%という数字が出てきています。これは他の月に比べると非常に小さい数字ですが、何か理由が考えられますか？

### 事務局

報告事項1の一番下の資料、-1.3%ということで、原因について分析はしております。色んな状況があろうかと思っております。事務局で話した意見では、天候に左右されるのではな

いかとか、当然家庭ごみでございますから家庭に居る時間が長ければ長いほど「燃やせるごみ」が発生するのではないかと、1つの分析をしております。

それから報告事項1の資料1にございますが、今回初めて削減率が大幅に落ちたということで色んな方面から分析をしたら、参考と書かれている8ヶ月の比較の次の参考「収集一日当たりで比較した場合」ということで、6月だけで見ますと、収集日の日数は、6月の場合、前年度が21日、本年度の実施後が22日ということで、収集排出する収集日の日数で若干違うのかということも考えました。しかしながら、その下を見て頂きたいんですが、一日1人当たり、これは6月については前年度、実施後も同じ30日でございます。人口の方も載せておりますが、それで比較してみますと、8ヶ月の比較とそんなに変化がございません。

分析には少し時間がかかっておりますが、6月だけ見るのではなくて長い1年スパンとか、そういう状況で今後また深くこの問題点を解決していきたいというふうに考えております。以上でございます。

#### **吉岡会長**

はい、ありがとうございます。他にご質問等ございますか？

元々この有料化に踏み切った時に予想として作っていた削減量・削減率というものがございました。その削減量・削減率から見た場合の現時点における評価というのはどのようなものでしょうか？

#### **事務局**

前回、有料化実施前の中間答申や答申を頂く前に、この審議会で大分市の状況説明を行ってまいりました。家庭ごみ有料化を実施している自治体の中で、同じ条件、30円台ということで統計を取っている資料を審議会にご報告した中では、実施後に16%から18%の削減効果があるという事でお示しをして、大分市も30円台ということで採用したところでございますが、その点と比較するとまだ実績が伸びておらず、削減率が思わしくないのかということがございます。そういう方面からも、今後は懇談会や広報媒体を使いながら大分市のごみ排出量を的確に市民の皆様にお知らせする中で、削減量と削減率の目標達成に向かっていきたいという事でございます。

#### **吉岡会長**

他にどなたかご質問等ございませんか？どうぞ。

#### **委員**

非常に有料化の効果が出て、燃やせるごみが減って資源プラが増えてるというのは狙い通りだと思うんですが、これは定番の話だと思いますが、燃やせるごみが5千トンくらい減

って資源プラが5百トンくらいしか増えていないという事は、多分残りの5千トン弱くらいがどういう形で削減されたのか分かれば、たとえばコンポストの貸し出しをされているという話が有ったと思うのですが、そういう形で生ごみを堆肥化されている市民の人が増えたとか、何かそういったことが分かれば教えて頂きたいのですが。

## 事務局

今、コンポストとかご利用の影響があるのではないかとということでございますが、25年度の実績と比べ、26年度はかなりコンポスト・ボカシ容器の申し込み件数が増えています。コンポストによりますと2,100件という数字が出ております。あくまでも市の試算となりますが、26年度の燃やせるごみの一世帯当たりの排出量が約1,100gでございます。それを、市が年4回組成調査というものを実施しており、生ごみの量、これは重量ベースでございますが、約半分の50%が生ごみという事で、組成調査の結果を持っております。1,100の二分の一ですから、550gに2,100件をかけて365日をかけると、420トンほど減ったのではないかとというような試算をしております。

またボカシ容器についても、615件ということで約120トンくらい減ったのではないかと試算しております。生ごみ処理機につきましても、164件ございましたので、32トンくらいは減ったのではないかとという事で試算をしております。

その他、先程も申しましたように懇談会を開いていく中で、皆様の減量に対する取組みということでお伝えしましたが、やはり何かを買いに行くときに冷蔵庫を見て必要な分、または必要な量だけ買うということで、そのような意識が市民の皆さんの中で向上したのではないかと分析をしております。以上でございます。

## 委員

ありがとうございます。

## 吉岡会長

他にございますか？

先程、燃やせるごみの中で10%くらいが紙類だという話がございました。これは有料化前の数字ですか、それとも有料化した後の数字ですか？

## 事務局

有料化実施前、実施後と年に4回ほど組成調査をしていますが、さほどその中の割合的なものは変わっておりません。約10%という事です。26年度は、4回ほど組成調査を実施しましたが、約10%という数字が挙がっております。

## 吉岡会長

委員の皆様の中で燃やせるごみの中から紙を抜く方法って何かないですかね？

## 委員

はい。私はクリーン推進委員の立場で出ておりますが、大道校区の大道小学校の体育館で有料化になる前のご説明に来ていただいた時の市役所の担当者の話がとても良くて、うちの近所、大道校区に関して言えば、横3cm×縦5mmの紙、「この紙がこのままで紙として資源になるんですよ」って、その方の話がとても上手でした。「ごみ箱の横にその小さい紙を入れる袋を付けましてね」って言ったらうちの町内、私は大道5丁目ですが、町内のお年寄りが結構それを実践しています。だから、ご報告の中にありましたけども啓蒙だと思います。あと、周知徹底。市役所の方がとても話が上手な方で、そういう話が上手な方が、説明会などの動員で行っている私たちが聞くと、主婦の立場で言うとかかなり浸透します。私が知っている範囲のごみステーションは、古紙の 때가すごく排出量が多いです。

数を数えたことがありますけど、燃やせるごみの倍くらいあります。

あまり参考にならないかもしれないけど、せっかく話をするのであれば、「～トンが」と言うよりも、「こうやって分けてください」と言ってわかりやすく話をしていただきたい。

以前の職員さんには感謝してます。それで意識が目覚めて徹底的にやっています。

周知徹底を繰り返すことが大事だと思います。以上です。

## 吉岡会長

ありがとうございます。はい、どうぞ。

## 委員

同じ様な事ですけど、結局いかに皆さんに小さい紙までが古紙になるのかってことの徹底をどのようにするのか、集まりに出られる方はそこで分かると思うんですけど、まだまだ分からない、集まりに出ていかない方がたくさん居るんじゃないかと思うんです。

特に、うちの場合でも恥ずかしいですけど男性はよく分かりません。見ていると、ポンと捨てちゃって、いつもごみを探しているような状態です。

どのようにして皆がそのように心がけたらいいのか、そこは気になりますが。

## 委員

まず家庭からですね。

## 吉岡会長

私も男性でありまして、どちらかと言えば1つのごみ箱に全部放り込むというパターンをやっております。時々思うのは家の中で、そもそもごみ箱を変えた方がいいのかなとい

うふうにも思うんです。できれば市の方で三つくらいの口があってガッチャンと上げれるような、部屋の中に置ける程度のごみ箱を作ってみるということはいかがなものですか？もちろん有料になりますが。

色んなアイデアがあったら、行政の方々にも参考になるようにぜひお寄せいただいて、同時にこうやって良い人が来られたという話を聞くと、市の中で養成講座を作ってその方が講師になって「こうやって説明するんだよ」というようなことをやっていただけるといいですね。

## 委員

本当に良かったです。

### 議事録署名委員の指名

浦松委員と植田委員を指名

### 報告事項2

#### 事務局（清掃管理課）

「家庭ごみ有料化の実施にあたっての要望事項に対する取り組み状況について」説明

## 吉岡会長

はい、只今のご説明につきましてご質問等ございますか？

1つ質問なんですが、報告事項2の一番左の欄の、1ページ目の一番左の欄で4番目のところ、クリーン推進員のところですが、クリーン推進員を世帯数で何名というふうに区切っているっていうのは何か理由があるんですか？

## 事務局

ご質問の、クリーン推進員を世帯数で区切っているのは、世帯数が多い事=(イコール)ごみステーションが多いという判断をさせていただいておりますことから、概ね500世帯以上の自治会は2名出してもよいですよ、という事しております。先程もお伝えしたように、世帯の多い所はごみステーションも多いということで、クリーン推進員の負担をなるべく軽減するために取り組んでおります。

## 吉岡会長

世帯が多ければクリーン推進員が多いという問題でもないようですが、それは予算の関係ですか？

## 事務局

予算は関係ございません。

## 吉岡会長

ちょっと分からない。予算が関係なかったら別に500世帯に2人とか決めなくても、クリーン推進員が10人居てもかまわないんじゃないですか？

## 委員

予算は関係あるんじゃないですか？私クリーン推進員だから。今のお答えになった意味の予算は関係ないってことだったと思うんですけど、私たちはボランティアでクリーン推進員を自治会、自治委員から委嘱され頼まれてというかたちでやらせて頂いております。私も今は自治委員と兼ねていますけれども、一人当たり清掃業務課さんから年二回、活動手当というんですか？その関係があるから予算が関係あるんじゃないかなと素人なりに思うんですけど違いますかね？

## 事務局

予算が関係ないというのは、概ね500世帯以上のところ全てが2名体制になっても予算の範囲内ですみますよということでございます。

## 委員

よろしいですか？

## 吉岡会長

はい、どうぞ。

## 委員

クリーン推進員さんのお仕事が負担になるっていうようなお話でしたけど、どのような事をどの程度までお願いできるのか、よくごみの残っている紙を貼られておりましてですね、近所の人に言うのは中々難しいんで、そういう時にお願いして一緒に行ってお話しして頂けるものか、どの程度のお願いをできるものか、ちょっと今気になったものですから。

## 委員

隣にいますから答えますけど。私は割と最初から、クリーン推進員ができた時からやる人が居なかったのでもずっとやっていたので、だんだん時代によって変わってきましたが、現在はとりあえず見守りをします。注意の貼紙があった時は、15年くらい前は自分で持って帰ってました。そして次の収集時に出してました。だんだんそういう事をする、人に

は色々な考えがあるので「ボランティアでそこまでする必要は無いんじゃないか」というご意見がクリーン推進員の会議でも出まして、決まったわけではないけれど、黄色い注意書きがあった時に、あまりにも、それが見苦しく道路にはみ出たという時はどのクリーン推進員さんも片づけてらっしゃると思います。私もそういう心掛けをしております。それから後は担当の清掃事業所、うちは西部事業所ですのであまりにも目に余る時はご連絡して、自分の敷地内に集めた時は取りに来ていただくようなことをしましたが、最近はそんなに無いです。と言うのも、何故かなと思ったら、あまりそこに違反ごみを置いていると、いつまでも置く場所になるからと、取りに来てくださっているみたいです。

元々ごみステーションは、今はネットでごみステーションですよって目に付きますけど、最初の頃のごみステーションは、ごみが無くなったらどこがごみステーションか分からないくらい、きれいにしようという目的で作られたはずなのが、今はカラスと猫防止でネットが在るから分かるんですけど、常時そこにごみを溜めないようにしようってことで、今は多分、清掃業務課の担当の方が取りに来ていただいていると思います。一回目は、警告のために置いておく。二回目に来た時は、市民のために収集する。だから私たちクリーン推進員自身が、私の知っている範囲で回収する回数は減りました。究極的にはボランティアですから、物差し色々でクリーン推進員も色々です。

## **吉岡会長**

他にご質問等ございますか？

## **事務局**

先程のクリーン推進員の業務の関係の事ですが、大久保委員さん、大変ありがとうございます。クリーン推進員の業務というのは、ごみステーションの片付けといった部分ではなく、その地域の住民の方にごみの正しい出し方の啓発やご指導をしていただくというのが主な仕事になってまいります。クリーン推進員の中には、ごみステーションを片づけてくださっている方もいらっしゃいますが、基本的なものは、地域住民の方へのごみの正しい出し方のご指導をお願いしているというのが主な業務でございます。

## **吉岡会長**

はい、というような事ございました。

## **委員**

はい、わかりました。片づけて頂かなくてもいいんですけど、間違っって出す方の指導がして頂けるとありがたいかなって思うんです。

**委員**

それが実際パトロールしてると、難しいんですよ。

**吉岡会長**

多分、非常に難しいだろうと思います。でも腕章が有るとかなんとか。

**委員**

腕章と帽子がありますが・・・

**吉岡会長**

ちょっとは？

**委員**

ちょっとはあるけど、難しいですね。でも、私は性格的に言えますけど、言えないクリーン推進員さんもいます。

**吉岡会長**

そうですね、はい。

**委員**

じゃあどうすればいいんでしょうね？

**委員**

それはもうその人のマナーですね。

**吉岡会長**

他にご意見、ご質問等ございますか？はい、それでは報告事項2につきましては以上といたします。

引き続きまして報告事項の3でございますごみステーション設置等補助金制度の拡充について、ということで事務局からご説明をお願い致します。

**報告事項3**

**事務局（清掃業務課）**

「ごみステーション設置等補助金制度の拡充について」説明

### 吉岡会長

只今のご説明につきましてご質問等ございますか？

ちょっと分からないんですけど、補助制度の中でネットシートを現物支給でステーションの三分の一の数というのは3年に一回は替えても良いということですか？

### 事務局

はい、3年に一度で自治会全てのステーションに行き渡るような形で制度を設けております。

### 吉岡会長

それで、平成26年度実績のこの申請件数が607件となっておりますけども、例えばネットシートの数とか場所とかの、何件くらいあるんですか？トータルで。

### 事務局

全てのステーション数は4月末時点で10,995ヶ所でございますけど、そのうち自治会管理分につきましては概ね7,000ヶ所が対象でございます。そのうちネットのみのステーションの数が約2,000ヶ所でございます。

### 事務局

すみません、清掃業務課の萱島と申します。

### 吉岡会長

ああ、座っていいですよ。

### 事務局

恐れ入ります。今、会長さんからご指摘いただきましたのは26年度の申請実績607件のうち被せネットが何件あったのかという事だと思っておりますけども、これは607件のうち517件であります。

### 吉岡会長

仮に2,000件のネットのみの所があつて、3年に一回替えるとなると600ヶ所。だいたい517ヶ所で同じくらいの数ということですかね？でも7,000のうちでちゃんとしたブロックの仕切りがあつてかつネットが要る所もあると思うんですけど。それを考えると数が少ないような気がして制度があまり知られてないんじゃないかなという事も思うのですが。大丈夫でしょうか？

**吉岡会長**

どうぞ。

**委員**

ステーションが無いわけではなくて在る場合ですね、改修費、何か制限がございますか？  
今年予算でここまでしかできないとか。

**吉岡会長**

半分だけブロックにするとか？

**委員**

いやいや、待ってくれとかいうような制限。

**吉岡会長**

ああ、待ってくれね。今の質問にも同時に答えていただけますか？

**事務局**

はい、基本的にはですね先程も申し上げましたけども、予算の関係もございまして、各自治会で被せネットを支給等申請いただく場合が、1つの自治会の中で三分の一の数の範囲内ということで渡させて頂いております。今年度は制度が拡大したという状況でございまして、これから申請が増えていくよう啓発等行っていきたくと思っておりますけども、予算の範囲内という分がございまして、申請の状況を見まして、対応できるような、補正での対応等も検討していくことが必要だろうというふうに考えております。

**吉岡会長**

渡辺委員からの質問で、結局予算の事があってちょっと待ってくれませんかというような事も起こりうるということですね？

**事務局**

今の予算で行きますと、申請の状況を見ますと起こりえるかもしれませんが、自主的に各自治会でごみステーションを管理いただいて制度を拡充いたしておりますから、私どもとしますれば、これから申請の状況を見る中で極力対応できるように補正予算等を取りながらやっていきたいというふうには考えております。

**吉岡会長**

他にございますか？

もう一つだけ質問を。ネットシートって3,500円なんですか？

### 委員

ピンからキリまであります。大変失礼だけれど3,500円は概ね安い方です。良いのになって、吹き飛ばないように重りが付いてるのだと7,000円から9,000円ほどいきます。

### 事務局

昨年度調査をしましたところ概ね4,000円程度でございまして、3,500円までについては補助をしようということで実施をしております。

### 吉岡会長

単純に現物支給と3,500円がイコールだなと思ったものですから。

はい、他にご質問等ございますか？もし無ければ報告事項3も了承したということにしたいと思います。

それでは「その他」ということなのですけども、ちょっとご質問させていただきたいのですが、冒頭におきまして火災が発生したというご報告がございましたけども、あの火災っていうのはだいたいどれくらいの頻度で今まで起きているものでございましょうか？

### 事務局

これは持ち込まれる物によるものですから、だいたい2年に1回、または頻度が高いと1年に1回程度のものでございます。

### 吉岡会長

はい、ありがとうございました。なんにしてもケガ人が無くて良かったというふうに思います。その他の議題として委員の皆さま方から「こんな事は？」ということがございますでしょうか？もし特に無ければ本日の予定事項につきましては全て終了致しました。

事務局から何かございますか？

### 事務局

先程、会長の方から6月分の「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の削減率が1.5%で、その原因はということでご説明をした点で、早口で大変申し訳なかったのですが、報告事項1の資料1に基づいて若干説明をしますので、少し見てもらってよろしいでしょうか？ここには、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の排出量について、24年度から26年度の排出量、4月から3月分の棒グラフ、それから11月から6月の8ヶ月間における比較があります。それで、先程1.5%の原因はということでご質問があった点で、その下

の参考、これはあくまでも参考でございますが、事務局としてどうして削減率が落ちたのか色んなケースを検証したところ、もしかしたら収集日が関係するのかもしれないということで、参考として「月別の収集一日当たり」で比較した場合を見ると、6月分は前年度が21日、今年度が22日であり、その1日の収集日数の違いで、かなり違ってくるかと。あくまでも参考ですが、事務局が計算したら月別の収集一日当たりの削減率は6.0%ということでございます。その下にある、「一日1人当たり」、これが基準になろうかと思えます。その分析をした結果、6月分の一日1人当たりの削減率が1.6%であり、8ヶ月間の比較と比べて、端数処理の関係で若干違ってくるということで補足説明をさせていただきます。事務局としても、今後7月がどうなるのかということで、かなり危惧しております。色々な条件がございますが、6月だけこのような削減率が-1.5%ということで落ち込んだのかと、様々な点から分析していますが、まだはっきりした原因は分かりません。当面は7月、これがどういう結果になるのか見ていきたいと思えます。また-1%台とか2%などになると、心配事が増えますので、当面は1年間のスパンで見たいと思えます。それで7月がどういう状況になるのか、市としても色々な対策を練っていかねばならないと考えております。

先程説明しましたように、とにかく市民の皆様にも今の現状やごみの推移を説明しながらどうしたら減るのかとアイデアをもらいながらしたいというのが、今回27年度4月から取り組んでいます懇談会です。今個別に自治会、それから地域ふれあいサロン、300団体くらいありますが、小さいお子さんを育てる子育てサロンや老人会とか、個別に通知をいたします。その他、そういう各団体に入っていない方は、「リサイクルおおいた」でもご案内しております。そういうご要望があれば、市の職員が直接お伺いして話をしたいというのがまずあります。「こういう現状がございます」と。

そのような計画をしておりますので、もし、今日委員さんの中でも会社の中や帰った際に、これは大分市民の方だけでございますが、そういう話を聞きたいとか、現状を市の方が説明したいので呼びかけをして頂ければと思えます。

以上でございます。

### **吉岡会長**

はい、ありがとうございました。他に、事務局の方からございますか？

### **事務局**

ございません。

### **吉岡会長**

それでは以上をもちまして全ての議事を終了致します。事務局にお返しいたします。

## 事務局

吉岡会長、長時間に亘る議事の進行、ありがとうございました。それでは最後に閉会のご挨拶を二宮副会長の方をお願いしたいと思います。

### 副会長からのお言葉

#### 二宮副会長

閉会にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。本日は熱心なご言論をいただき、ありがとうございました。今回は家庭ごみ有料化制度の実施後の排出状況等の報告でありましたが、家庭ごみ有料化をはじめごみの問題は私たちの身近なものであり、多くの市民が注目しているところであります。本審議会が議論し提言を行うことにより市民・事業者・行政との協働により廃棄物適正処理に向けた各種事業の推進への一助になっていければと考えております。また市議会といたしましても、本市の環境行政が円滑かつ効果的に推進できるよう市政運営チェック等、提言等を行ってまいり所存であります。これからも市民の皆さんと共に清潔で美しく、そして住みやすいまち、大分を築いていきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。改めまして本審議会ご出席の皆さんに御礼を申し上げまして閉会のご挨拶といたします。ありがとうございました。

## 事務局

ありがとうございました。以上をもちまして平成27年度第1回大分市清掃事業審議会を終了いたします。

次回につきましては家庭ごみ有料化後1年間の家庭ごみ排出状況等についてのご報告などを議題に11月下旬頃の開催を予定しております。改めて事務局よりご案内申し上げますので、委員各位におかれましてはご配慮たまわれますようよろしくお願いいたします。

本日は大変お疲れ様でした。ありがとうございました。